

研 修 報 告 書

令和3年1月15日

玉名市議会議長
内田 靖信 様

氏 名 中尾 嘉男



下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

| | | | |
|--------|---|------|-----|
| 参加議員 | 坂本公司、古奥俊男、西川裕文、近松恵美子、作本幸男、中尾嘉男 | | |
| 日 時 | 令和3年1月12日（火）午前10時～午後0時 | | |
| 場 所 | 玉名市役所4F | 参加者数 | 40人 |
| 研修事項 | 輝きを取り戻す「発達障がいと呼ばれる子どもたち」 | | |
| 概要及び所見 | <p>島根県出雲市にある「ゆめの森こども園」の代表・前島由美さんを招いて、「子どもが変わる、未来が輝く、輝きを取り戻す発達障がいと呼ばれる子どもたち」と題した講演会に参加する。</p> <p>食育の重要性を重視する観点から、子どもたちとその保護者を「食と温もりの関わり」を柱にした療育支援を通して救う活動を展開されていた。</p> <p>具体的にはミネラルたっぷりの食事を子どもに摂らせることで、子どもたちのさまざまな苦しい症状が治まっていくというもので、食を変えてミネラルを補給するだけで子どもたちが短期間で落ち着いたり、集中できるようになっていくという実例を、身をもってたくさん経験している前島氏は「これをここだけで済ませてはいけない」という強い思いを抱かれ、まさに命がけで活動されていた。</p> <p>参加者との意見交換も行ない、本市において課題となっている特別支援教育及び食育事業に有効的な施策を講じていきたい。</p> | | |

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日（火）午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生（ゆめの森子ども園）

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギー症状が改善していくのを実感。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギーと脳の栄養障害という言葉を耳にし、「食べなきや危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し（ミネラル補給）による改善に取り組む。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家風日本家屋を新築。衣食住の昔体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みつばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドでごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と呼ばれる子どもたちを改善に導いている。

2019年、11月に保護者、学校長、スタッフなどの寄稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ

玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会いました。今回、現場の方々学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していきたいと考えております。



ゆめの森子ども園
愛の関わりと連携の実例集

輝きを取り戻す

“発達障がい”と呼ばれる
子どもたち



感覚過敏からくる問題行動や不登校――

苦しい状況に置かれた子どもたちを救う、
ゆめの森子ども園の取り組みを紹介！

そこには愛の関わりと食療改善、学校・家庭・民間者の連携がありました。
※本書とゆめの森の連携で実現した療育実践
※小児科医長との協力で振り戻る実践事例
※著者に寄せられる質問・相談への具体的な回答

ゆめの森子ども園代表
前島由美 著

